

I. 広東省

1. 中国-ドイツ対話フォーラム2016年会議の開催

●6月30日～7月2日にかけて、仏山市で上記フォーラムが開催された。地級市での開催は初となる。両国の政治、経済、文化、学術、メディア等の分野から25人の代表が出席。4つの議題について深く検討し、中国とドイツの全方位的な戦略的パートナーシップを更に強化するための具体的な提案を行なった（7月4日付『南方日報』）。

※4つの議題：（1）環境保護分野における協力・ドイツの低炭素経済発展の経験、（2）両国の都市化に関する協力・経験の参照、（3）両国の高齢化問題の現状・経験の交流、（4）就職問題。

2. 省党常務委員会議の開催

●4日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、胡書記は中国共産党95周年大会で習近平・総書記が述べた重要講話の精神を伝達。思想と行動を習近平・総書記の重要講話の精神に適切に一致させ、政治意識、大局意識、核心意識、看齐意識を更に強め、習近平・同志を総書記とする党中央の周囲で更に緊密に団結し、「2つの百年」という努力目標と、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現するために励むよう強調（7月5日付『南方日報』）。

3. 4日午前、朱小丹・省長が郝克明・国家教育顧問委員一行と会談。藍仏安・副省長も同席（7月5日付『南方日報』）。

4. 何忠友・副省長が在中国NZ大使一行と会談

●4日、上記会談で何忠友・副省長は、観光、貿易・投資分野での協力、オークランド市の研究機関との協力を要望し、広東省を冷凍・生鮮食品輸送の中継点とすることも可能であると述べた（7月5日付『南方日報』）。

5. 省党組織部主管の新任幹部に対する研修の開催

●5日午前、約500人の新任幹部が上記研修に参加。胡春華・省党書記は政治的素養を確実に高めるようにとの重要指示を出した（7月6日付『南方日報』）。

6. 省人代常務委員会党組織拡大会議の開催

●5日午後、黄龍雲・省人代常務委员会主任主宰の上記会議で、習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を伝達（7月6日付『南方日報』）。

7. 広東省所属企業の改革の動向

●先頃、省国有資産監督管理委員会が「“3つの区別”の原則実施による省所属企業の改革・イノベーションを行う活力励起に関する意見」を発表。“3つの区別”の原則を実施する際の政策的境界線と業務手順を重点的に明確化し、この原則が適用可能な4つの大まかな類型における17種類の状況、一律に適用できない10種類の状況を明記。これにより、企業の活力を奮い立たせ、企業のリーダーは改革・刷新を推進していく上で拠り所を得られた（7月6日付『広州日報』）。

※“3つの区別”：（1）改革を推進する中で経験不足や初の試みのために犯した過失と、明らかに紀律・法律違反と認められる行為の区別、（2）改革推進のため、上層部が明確な制限を設けていないところで探索的に試みた結果の過失と、上層部が明確に禁止した後も自分勝手に行なった紀律・法律違反の区別、（3）改革や発展を促進する中での意図せざる過失と、私利私欲を求めている紀律・法律違反と認められる行為の区別。

8. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が雲南省を視察

●5日～6日にかけて、胡春華・省党書記、朱小丹・省長率いる広東省党・政府代表団が雲南省を視察。胡書記は実務レベルでの協力を更に強化する必要があると、国による手配と「十三・五計画」期間における広東・雲南戦略的協力枠組み協定」を共同で実行することで両省の協力を推進し、絶えず新たな水準に押し上げていきたいと強調。李紀恒・雲南省党書記、陳豪・雲南省長も同行（7月7日付『南方日報』）。

9. 省人代常務委員会が現場座談会を開催

●6日午後、省人代常務委員会が茂名・化州市で、行政訴訟法の執行に関する検査、行政機関の責任者の出廷に関する業務について座談会を開催。黄龍雲・省人代常務委員会主任が出席（7月7日付『南方日報』）。

●7日、黄龍雲・省人代常務委員会主任率いる調査チームが、茂名・化州市、陽江・陽春市で嶺南の漢方薬材の保護のための立法状況を調査し、座談会を開催（7月8日付『南方日報』）。

10. 王榮・省政協主席一行が広州市を視察

●6日、広州市で「安全な生産」に関する提案の実施状況を視察。7日午前、座談会を開催（7月8日付『南方日報』）。

1.1. 藍仏安・副省長がアルゼンチン建国記念レセプションに出席

●7日、藍仏安・副省長が在広州アルゼンチン総領事館が開催した上記レセプションに出席。2015年の広東省とアルゼンチンの貿易総額は25.5億米ドル（前年比52.9%増）に達した（7月8日付『南方日報』）。

1.2. 何忠友・副省長が韓国-広東発展交流会に出席

●6日、韓国・ソウル市で上記交流会が開催され、何忠友・副省長、禹泰熙・韓国産業通商資源部次官が出席。2015年の広東省と韓国の貿易総額は中韓貿易の23.6%を占めた。何副省長は、広東省と韓国の協力を更に強化すべく、（1）経済・貿易協力における潜在力の探索、（2）現代産業における協力強化、（3）創新駆動における協力強化、（4）中韓（惠州）産業パーク建設の推進、（5）観光・人文分野での協力、の5つの提案を行なった（7月9日付『南方日報』）。

13. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が海南省を視察

●7日～9日にかけて、胡春華・省党書記、朱小丹・省長率いる広東省党・政府代表団が海南省を視察。胡書記は、国家の手配と両省の協力協定をしっかりと実行し、交通・観光・農業・コンベンションの開催・科学教育・衛生等の分野における実務的な協力を更に深め、両省の協力を絶えず新たなステージに押し上げていきたいと強調。羅保銘・海南省党書記、劉賜貴・海南省長も同行（7月10日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市政府常務会議の開催

●4日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、省土地管理業務会議の精神を伝達し、督促検査業務の細則を制定（7月5日付『広州日報』）。

2. 温国輝・市長が東原敏昭・日立製作所社長一行と会談

●5日、上記会談で温国輝・市長は、現代サービス業、先進製造業等の分野で更に広州へ投資してほしいと要望（7月6日付『広州日報』）。

3. 市国有資産監督管理委員会等が杭州市を視察

●5日、市国有資産委員会が多くの中州市所属国有企业等を率いて杭州市を訪れ、アリババ集団とクラウド・タウンを視察。珠江ピアノ集団とアリババ・クラウドが戦略的協力協定に署名。世界初の「クラウドによるピアノ

販売のためのサービス」エコシステムを立ち上げた（7月6日付『南方日報』）。

4. 市党宣伝部がテーマ会議を開催

●6日午前、上記会議で習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を学習・伝達（7月7日付『広州日報』）。

5. 広州市のイスラム教徒に関する動向

●6日はイスラム教徒及びイスラム教を信仰する10の少数民族にとって重要な祝日（イード・アル=フィトル）だった。市党委員会、市政府、市・区民族・宗教担当部門、市イスラム教協会はそれを高度に重視し、厳密に組織された状況の下で、広州市のレバラン礼拝は順調に進められ、約2万7,300人の中国及び海外ムスリムが懷聖モスク、「先賢古墓」で礼拝に参加。穏やかな雰囲気の中でつつがなく祝日を終えた（7月7日付『広州日報』）。
※懷聖モスク：626年建立。現存する中国最古のモスク。場所は広州市越秀区。1996年、国務院が国家重要文化財に指定。

6. 温国輝・市長が荔湾区、海珠区、天河区、黄埔区を視察

●5日午後～6日にかけて、温国輝・市長が荔湾区、海珠区、天河区、黄埔区を訪れ、都市計画・建設管理業務を視察（7月8日付『広州日報』）。

7. 温国輝・市長が一般市民の問題に直接対応

●8日午後、温国輝・市長が市人民来訪接待庁で計3組のべ6人の一般市民に対応。市民側が訴えた主な問題は企業用地、不動産証明書の発行、住宅制度改革が残した問題等だった（7月8日付『広州日報』）。

8. 海洋総合科学調査船「海洋6号」が2016～17年大洋・南極科学調査のため広州市を出港（7月9日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を学習・貫徹するための座談会の開催

●4日午後、馬興瑞・市党書記主宰座談会が開催され、同書記が全市各級党組織、多くの黨員幹部は「4つの意識」を確実に強化し、「两学一做」をしっかりと行い、「4つの自信」を持って深圳経済特区の発展を更にステップアップさせていくよう協調（7月5日付『深圳特区報』）。

●7日午後、許勤・市長主宰座談会が開催され、同市長が党中央、省・市党委員会の段取り、馬興瑞・市党書記の要求に基づき、習近平・総書記の重要講話の精神を真剣に学習・貫徹・実行するよう強調（7月8日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が南方科学技術大学の卒業式に出席

●5日午前、南方科学技術大学で第1期生の卒業式が挙行され、馬書記、許市長が出席し挨拶。卒業生の60%以上が世界の有名大学院に進学（7月6日付『深圳特区報』）。

3. 深圳市のイスラム教徒に関する動向

●6日、約8,000人の中国及び海外ムスリムが福田体育公園のモスクに集まり、礼拝を行なった。盛大な祝祭イベントも開催され、林浩・市統一戦線部長が出席（7月7日付『深圳特区報』）。

4. 市政府常務会議の開催

●7日午後、許勤・市長主宰の上記会議で、「深圳市供給構造改革全体プラン（2016～2018年）」について審議し採択（7月8日付『深圳特区報』）。

5. 許勤・市長が中国・ロシア人文協力委員会第17回会議に出席

●4日～6日にかけて、許勤・市長がモスクワで開催された上記会議に招かれ出席。モスクワ国立大学総長等と面会し、中国・ロシア両国指導者のコンセンサスを実行に移し、深圳・北京理工大-モスクワ大学の建設を急ぐとともに、更に緊密な協力を推進し交流を深めていくことで合意（7月8日付『深圳特区報』）。

6. 8日午前、許勤・市長が羅湖区で安全な生産に関する業務を点検（7月9日付『深圳特区報』）。